

年頭のあいさつ



榛東村長

阿久澤 成實

新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい平成27年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、6月に富岡製糸場が世界遺産に登録され、さらに群馬県のマスコットキャラクターであるぐんまちゃんやゆるキャラグランプリを取るなど群馬県が脚光を浴びた明るい年でした。

東日本大震災の復興が堅実に進み、喜ばしいことではありますが、一方で、豪雨による広島の土石流災害や御嶽山の噴火など大規模な自然災害が発生し甚大な被害をもたらされ心を痛めているところがあります。

政治に目を向ければ12月に行われた衆議院議員総選挙において、自民党が圧勝し、第三次安倍政権が発足しました。長期政権を見据えて、経済・外交・エネルギー政策など様々な課題に真摯に取り組んでいただきたいと思います。

科学では、高効率青色LEDの発明により、赤崎・天野・中村三教授がノーベル物理学賞を受賞され、日本の科学技術力の高さを世界に証明しました。

さて、村内に目を向ければ、2月の大雪により、村内の農業用施設に被害が発生し、その復旧に全力で取り組んでいます。一日も早い復旧が望まれるところです。

村内の公共事業では、南小学校体育館が完成することに伴い、子どもたちによりよい教育環境の充実が図れることを期待するところです。

防災の拠点では防災広場の建設。生涯学習の拠点施設では、南部コミュニティセンターの改修。地域活動の拠点では、第十七区コミュニティセンターの改修等が完成します。

そのほか、公共下水道事業の推進や高崎・渋川線バイパスアセス道、山子田三号計画道の完成を期に長岡第五号計画道路や新井第一号計画道路の早期完成を進めて

まいります。

さらに、昨年からクレジットカード決済型で始めた、地域創生ふるさと応援事業・地域経済循環型ふるさと納税制度では、村の特産品が認められ、全国の多くの方にご寄附を頂き感謝申し上げます。

平成27年度は第五次榛東村総合計画の最終年度ですが、計画にある事業はほとんど完成の運びとなり、この計画及び事業に携わった方々に心より感謝申し上げます。

また、平成28年度から新たに始まる第六次総合計画も現在鋭意作成中でございます。

第五次総合計画の基本目標に示されている「心の重視・環境の重視・人の重視」を基本理念とし、これからも村民の安心・安全を推進してまいります。

結びに、今年一年が皆様にとりまして最良の年となりますよう心からご祈念申し上げます。念頭のご挨拶とさせていただきます。

平成27年の新春にあたり村民の皆様には夢と希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年7月から榛東村議会議長を務めさせていただき、初めての新年を迎え、あらためて身の引き締まる思いをしております。

昨年を振り返ってみますと、政府が打ち出した経済政策で、輸出企業は利益が増大しました。

しかし、輸入に頼る燃料や原材料費の高騰につながり、景気回復が地方にまで及んでいないのが現状です。

景気回復を全国津々浦々まで届けたいと、師走のあわただしさの中、第47回衆議院選を実施し、与党は、衆院定数の3分の2を確保しました。

急速な少子高齢化と人口減少で疲弊する地方をどう再生するか。選挙で掲げた「地方の魅力が活きる社会」への道筋を明確にし、着実に前に進めていただきたいと思います。

明るいニュースでは、ノーベル物理学賞に3人の日本人が受賞し

ました。私たちが日常で身近に触れている青色の発光ダイオード(LED)を開発し、ノーベル賞選考委員はその実用性を高く評価しました。これほど現在社会に欠かせない技術が、日本人から生み出されたことにあらためて感嘆いたします。

また、昨年2月14、15日に記録的な大雪が関東甲信地方を襲い、前橋市で73センチと観測史上最高となりました。本村でも、16日には各区に住民総参加の除雪協力要請を行い、特に重機・農機具所有者に活躍をしていただき、生活道路、通学路除雪において多大な成果が得られました。このことにより、自分たちの地域は自分たちで守るという住民意識の連帯感が図られ、今後行政運営の筋道になるものと確信しております。この大雪により、農業ハウスや畜舎の倒壊、住宅やカーポートの損壊と過去に例をみない被害となり、資材等の不足でいまだ再建できない状況です。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧をお祈り申し上げます。

さて、村政の状況でございますが、依然として、厳しい財政状況にあります。その中でも、子育て支援、高齢者福祉の充実、教育環境の整備、社会資本整備、生涯学習の推進、産業の振興、観光振興など、課題が山積しておりますので、引き続き目標に向かって努力する必要があります。

本年も、地方交付税や補助金の削減など、行財政の運営は大変厳しい状況になることが予想されますが、創意工夫をして、独自の改革と活力のあるむらづくりを推進していかなければなりません。

議会といたしましても、開かれた議会運営・議会改革に取り組み、村民サービスの低下にならないよう、村民の代表として、また、行政の監視役として職責を果たしてまいりますので、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が村民皆様にとりまして、明るく希望に満ちた年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



榛東村議会議長

金井 佐則